

感染症ニュース！

令和7年4月号

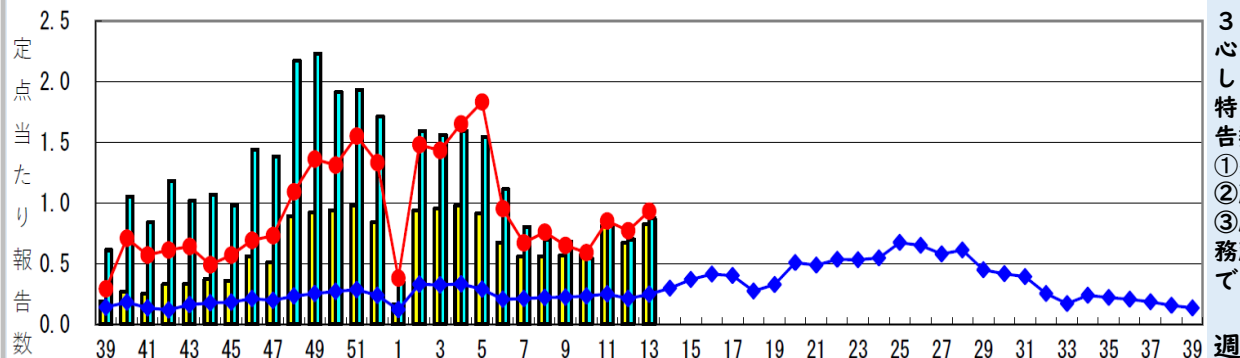
前月の神奈川県内の発生動向および国内外で気になる感染症を掲載しております。

★ 3月の注目感染症

■ 全国 ■ 神奈川県 ● 県域 ◆ 県域過去平均

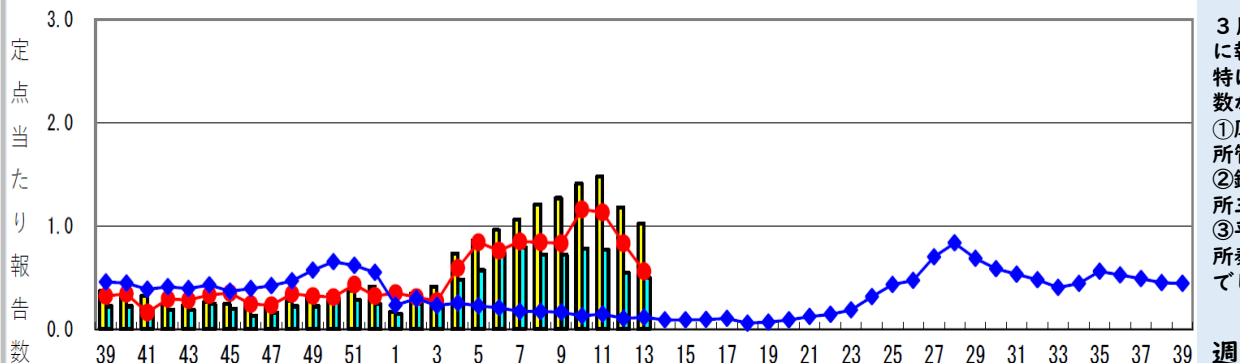
① 伝染性紅斑

* 県域とは、神奈川県内の市町村のうち横浜市、川崎市、相模原市を除いた地域です。



3月は、**5歳**を中心に報告がありました。
特に定点当たり報告数が多い地域は、
① 茅ヶ崎市
② 藤沢市
③ 厚木保健福祉事務所管内でした。

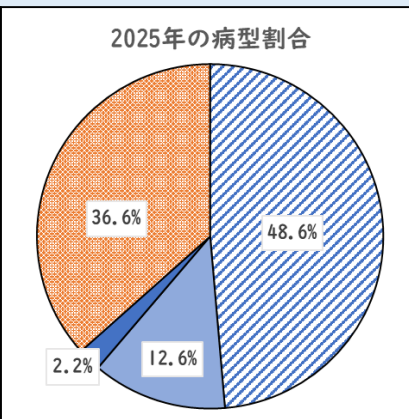
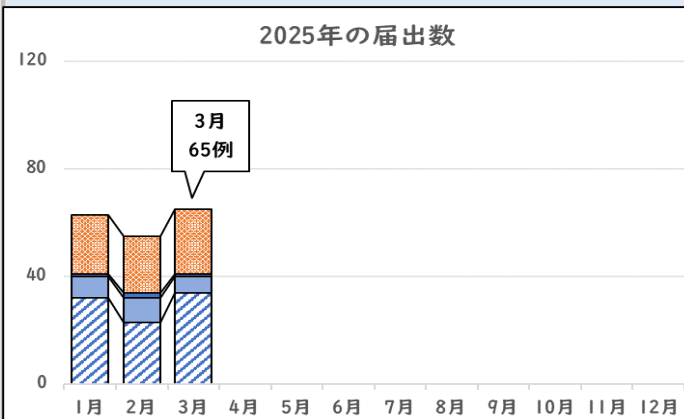
② RSウイルス感染症



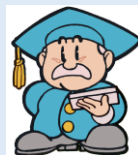
3月は、**1歳**を中心に報告がありました。
特に定点当たり報告数が多い地域は、
① 厚木保健福祉事務所管内
② 鎌倉保健福祉事務所三崎センター管内
③ 平塚保健福祉事務所秦野センター管内でした。

★ 結核の発生動向（4月1日時点）

■ 肺結核 ■ 肺外結核 ■ 肺結核+肺外結核 ■ 無症状病原体保有者



3月の届出数は**65例**でした。
2025年の累計患者数は**183例**となりました。
(現在、疑似症患者の届出はありません。)



衛生
博士

★ 国内・海外で気になる感染症をご紹介します

・全国で**麻疹**の流行が続いている。国立健康危機管理研究機構（旧国立感染研究所）によると、2025年第12週時点で44例の報告があり、過去2番目に報告が多い2018年を上回る勢いで増加している。全国各地で報告が相次いでおり、年齢群は20歳代が約半数を占める。ベトナムをはじめ海外での感染が推測される報告が多く、今後GWで海外に行く際は注意が必要である。（国立健康危機管理研究機構 <https://id-info.jihs.go.jp/>）

・米国での**麻疹**患者が2019年以来過去最高となっている。米国CDCによると、2025年3月27日時点で20州で483例の報告があり、その内70例（約14%）が入院例となっている。年齢群別では5-19歳が約半数を占めており、続いて5歳未満の割合が多くなっている。また、地域別に見るとテキサス州で250例以上の報告があり、地域間での動向に乖離が見られる。（米国CDC <https://www.cdc.gov/>）

神奈川県衛生研究所 感染症情報センター が作成しました。

お問合せはこちらまで↓

TEL:0467-83-4400(代表) FAX:0467-89-5211(企画情報部)



感染症情報
センターHP

衛生

ちゃん

